

トレーダーズホールディングス通信

2023年4月1日～2024年3月31日



金融を、もっと面白く。

Create the **New** Values

新たな価値を創造し続ける

トレーダーズホールディングス株式会社

証券コード:8704

『TOP MESSAGE』

～中期経営計画目標を達成
さらなる成長を目指す～

このたび、当社グループの2024年3月期の業績が過去最高記録を更新し、また、トレーダーズ証券における顧客預り資産も中期経営計画の目標でありました1,000億円を達成することができました。この偉業は、ひとえに当社をご支援・ご愛顧いただく株主様やFX投資家の皆様、またお取引いただく全てのステークホルダーの皆様のご高配の賜物であり、心より感謝申し上げます。

当社グループにとって、前期は、東京・恵比寿への本社移転による先駆的な事業環境の強化と人的資本への積極的な投資を推し進めてきた1年であり、企業としての成長の礎をさらに盤石なものとするべく役職員一人一人が取り組んできた結果が、主軸の金融商品取引事業をシステム開発事業が融合しながら相乗効果を産み出す過程で、各商品・サービスの質を向上させ、新たな付加価値を創出することにつながったものと自負しております。

本年4月には、2025年3月期を開始初年度とする新たな中期経営計画『Traders Group Vision for 2027』を公表し、さらなる成長を遂げるべく、預り資産の増加を目指す意欲的な目標を掲げました。預り資産は、FX取引を行う際にお客様から預託いただく証拠金で、将来の収益を生み出す源泉となる重要な（象徴的な）指標であると考えております。預り資産を着実に積み上げることにより、為替相場の市況に左右されにくい、より強固な収益基盤を構築することができます。私たちは現状に満足することなく、グループ全役員一丸となって、これらの新しい目標達成に向けて邁進してまいります。

皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りませう、心よりお願い申し上げます。

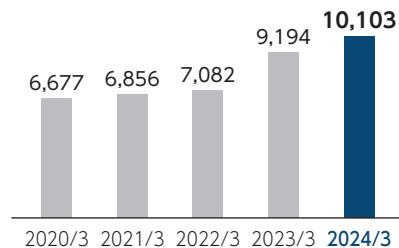
トレーダーズホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長

金丸貴行

決算ハイライト (2020年3月期～2024年3月期)

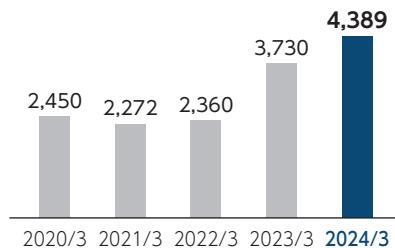
営業収益

単位：百万円



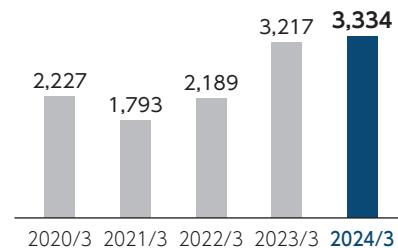
経常利益

単位：百万円



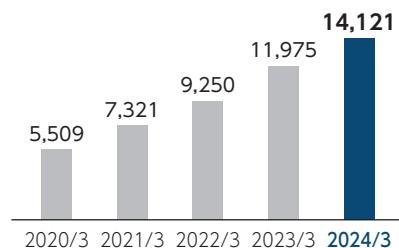
親会社株主に帰属する当期純利益

単位：百万円



純資産

単位：百万円



ROE

単位：%



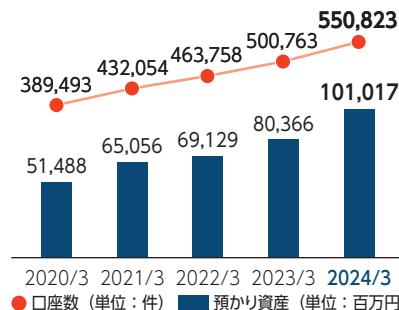
1株当たり配当金の推移

単位：円



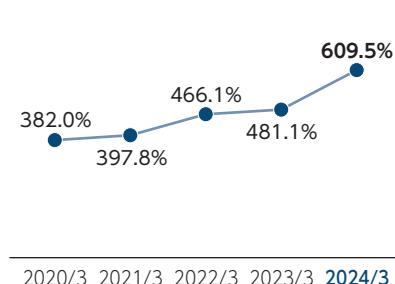
トレーダーズ証券

口座数及び預り資産



自己資本規制比率

単位：%



自己資本規制比率とは、金融商品取引業者の経営の健全性を測る指標のことで、金融商品取引法においては、例えば140%を下回った場合には金融庁に届出を提出することなどが求められています。2020年3月期には、382.0%でしたが、当期末は609.5%と健全性が增强されております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第24期 2022年4月1日から 2023年3月31日まで	第25期 2023年4月1日から 2024年3月31日まで	増減
営業収益	9,194	10,103	909
受入手数料	86	80	△6
トレーディング損益	8,757	9,787	1,029
金融収益	1	1	0
その他の売上高	343	234	△108
その他	6	－	△6
金融費用	53	53	△0
売上原価	236	138	△98
純営業収益	8,905	9,912	1,007
販売費及び一般管理費	5,162	5,499	337
取引関係費	2,209	1,811	△397
人件費	1,880	2,275	395
不動産関係費	588	692	104
事務費	74	82	7
減価償却費	250	328	77
租税公課	131	102	△28
その他	28	205	177
営業利益	3,742	4,412	669
営業外収益	11	9	△2
営業外費用	23	31	8
経常利益	3,730	4,389	658
特別利益	27	3	△23
特別損失	127	32	△94
税金等調整前当期純利益	3,630	4,360	729
法人税、住民税及び事業税	605	758	153
法人税等調整額	△193	267	460
法人税等合計	412	1,026	613
当期純利益	3,217	3,334	116
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	－	△0	△0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,217	3,334	116

為替相場のボラティリティは前期に比べ低下傾向にあったものの、顧客預り資産を順調に積み上げることができたためにトレーディング損益は過去最高を記録しました。

その他の売上高は、システム開発・システムコンサルティング事業の外部顧客に対する売上高です。FleGrowthは当期もトレーダーズ証券向けのシステム開発・改修等に注力し、外部売上は大口顧客の事業規模縮小に伴い減少しました。今後は、生成AIを用いた業務改善ツールである「AIサポートデスク」の開発に代表されるように、Fintech分野だけではなく非金融の分野でも外部売上を増加させていきます。

「LIGHT FX」におけるレベニューシェア型の広告宣伝契約を前期4Qに終了させたことで、広告宣伝費を効果的に使用することができるようになり、効果を高め、費用を減少させることができました。

主に給与水準の引き上げと業績拡大に伴う賞与の増加の影響で増加しました。当社は高賃金と高ROEの両立を追求しています。

本社移転により不動産費が増加し、FX取引に使用するサーバー入れ替えによりシステムコスト（器具備品費）が増加しました。

FleGrowthにおいて研究開発部署を立ち上げ次世代取引システムの開発、「AIサポートデスク」の開発等、様々な開発を行ったことで研究開発費が増加しました。

利益の増加による繰延欠損金の充当を反映して繰延税金資産を取り崩した結果、税負担増となりました。今後の法人税負担率は法定実効税率（30%強）に近づく見込みです。

当社創業以来の最高益を更新することができました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第24期 (2023年3月31日)	第25期 (2024年3月31日)	増減	
資産の部				
流動資産	86,320	116,378	30,057	
現金及び預金	5,235	8,850	3,614	
仕掛品	6	1	△5	
預託金	72,646	99,572	26,926	顧客から受け入れた預り金を当社固有の資産と区別して分別保管しております。顧客預り資産が増加となり受入保証金勘定が増加したため預託金勘定も増加しました。
トレーディング商品	543	1,200	656	4月からPrime Brokerと取引を開始する準備のため他のカバー取引先への証拠金を減らしたことで減少しました。
短期差入保証金	7,119	5,970	△1,148	
その他	779	806	26	
貸倒引当金	△10	△23	△12	
固定資産	1,997	1,814	△182	
有形固定資産	285	257	△28	
無形固定資産	638	744	105	FlеGrowthにおいてFX取引および暗号資産CFD取引のシステムを開発することで増加しました。
投資その他の資産	1,072	813	△259	
資産合計	88,317	118,193	29,875	
負債の部				
流動負債	75,226	103,884	28,657	
トレーディング商品	208	298	89	
預り金	20	26	5	主に、利益の増加による繰越欠損金の充当を反映して繰延税金資産を取り崩したことで減少しました。
受入保証金	73,083	100,113	27,029	
短期借入金	860	1,127	267	
1年内返済予定の長期借入金	72	393	321	
1年内償還予定の社債	100	600	500	主に顧客預り資産に対応する勘定科目です。当期末にはグループの中期経営計画目標である1,000億円に到達しました。
未払法人税等	288	505	216	
賞与引当金	181	273	92	
その他	411	546	134	
固定負債	1,115	187	△928	
社債	600	—	△600	有利子負債残高は前期末と比較して138百万円増加しました。有利子負債は、急激な為替相場変動に備えた待機資金や、カバー取引先金融機関への差入保証金等に充当しています。
長期借入金	463	112	△350	
役員退職慰労引当金	16	33	17	
退職給付に係る負債	36	41	5	
その他	0	0	△0	
負債合計	76,342	104,071	27,729	
純資産の部				
株主資本	11,922	13,991	2,068	
資本金	1,564	1,564	—	自社株買いを実施しました。
資本剰余金	901	961	60	
利益剰余金	9,768	12,386	2,618	
自己株式	△310	△921	△610	役員向けにストックオプションの発行を行いました。
その他の包括利益累計額	52	78	26	
為替換算調整勘定	52	78	26	
新株予約権	—	49	49	
非支配株主持分	—	0	0	
純資産合計	11,975	14,121	2,146	純資産は対前期末比で2,146百万円増加し、財務安全性がさらに高まりました。
負債・純資産合計	88,317	118,193	29,875	

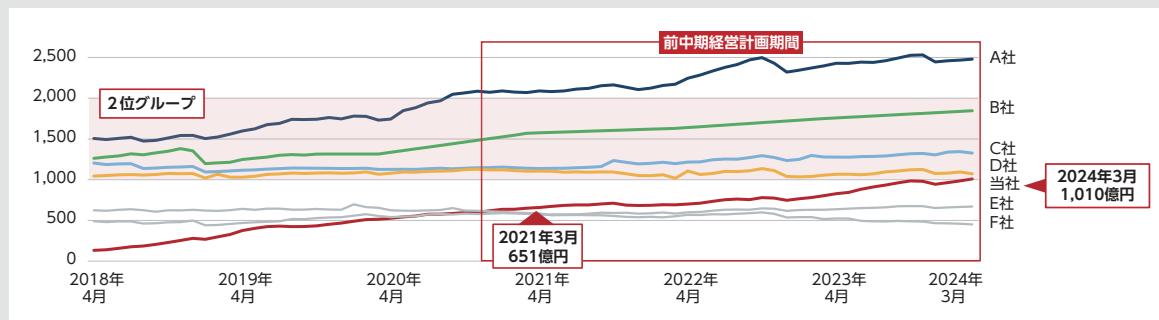
前中期経営計画の振り返り

前中期経営計画 顧客預り資産倍増計画

- 目標
- 1 預り資産1,200億円*を達成し、FX業界トップをターゲット圏内に！
 - 2 商品展開の多様化により、収益基盤の安定と事業の成長を加速

*預り資産の目標金額は2023年3月期に1,000億円へと修正いたしました。

成果 預り証拠金 1,000億円台に到達 → 業界メインプレイヤーグループとなる



前中期経営期間の業績推移

- 業績は3年間で営業収益は約1.5倍、営業利益および経常利益は約9割増に拡大
- 連結純資産は2倍近くに増加したが、ROEは25%超の高水準を維持
- 株主の期待リターンを超える成果を継続して収めることができた

(単位：百万円)	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	増減率 (対2021年3月期)
営業収益	6,856	7,082	9,194	10,103	+47.4%
営業利益 (営業利益率)	2,356 (34.4%)	2,372 (33.5%)	3,742 (40.7%)	4,412 (43.7%)	+87.2% (+9.3%)
経常利益	2,272	2,360	3,730	4,389	+93.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,793	2,189	3,217	3,334	+85.9%
純資産	7,321	9,250	11,975	14,121	+92.9%
預り資産(億円)	650	691	803	1,010	+359億円
ROE	28.0%	26.4%	30.3%	25.6%	△2.4%

▶新中期経営計画 Traders Group Vision for 2027 — FX業界のTOP3へ —

預り資産目標
1,450億円

私たちの事業への想い

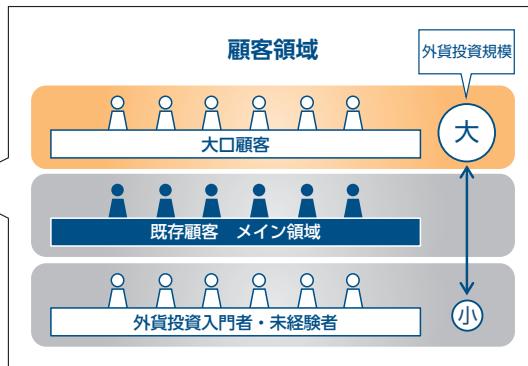
金融を、もっと面白く。

みんながFXと株式を
どちらも取引している世の中に

計画達成に向けた施策

1 大口顧客に対しては専門部署を設置しコンサルティングを充実

- 専門部署を設立し、投資に積極的かつ投資余力のある大口顧客に対してコミュニケーション量を増加させる
- 顧客のニーズを詳細に吸い上げ、各顧客に合わせた有用性の高いコンサルティングを行う



2 システムトレードの強化

- 国内唯一のフォロートレードを提供
- 上級者の取引をコピーして自動売買ができるため初心者でも安心して取引が可能
- 当社独自のシステムに載せ替えることで大量取引が可能となる



3 生成AIを活用したDX領域の製品開発の加速

- 2024年4月より生成AIをベースにしたAIサポートデスクをリリース
- グループ内で活用し様々な現場の意見を吸い上げて利便性を進化
- DX領域の新製品を投入して、システム開発の領域を広げる



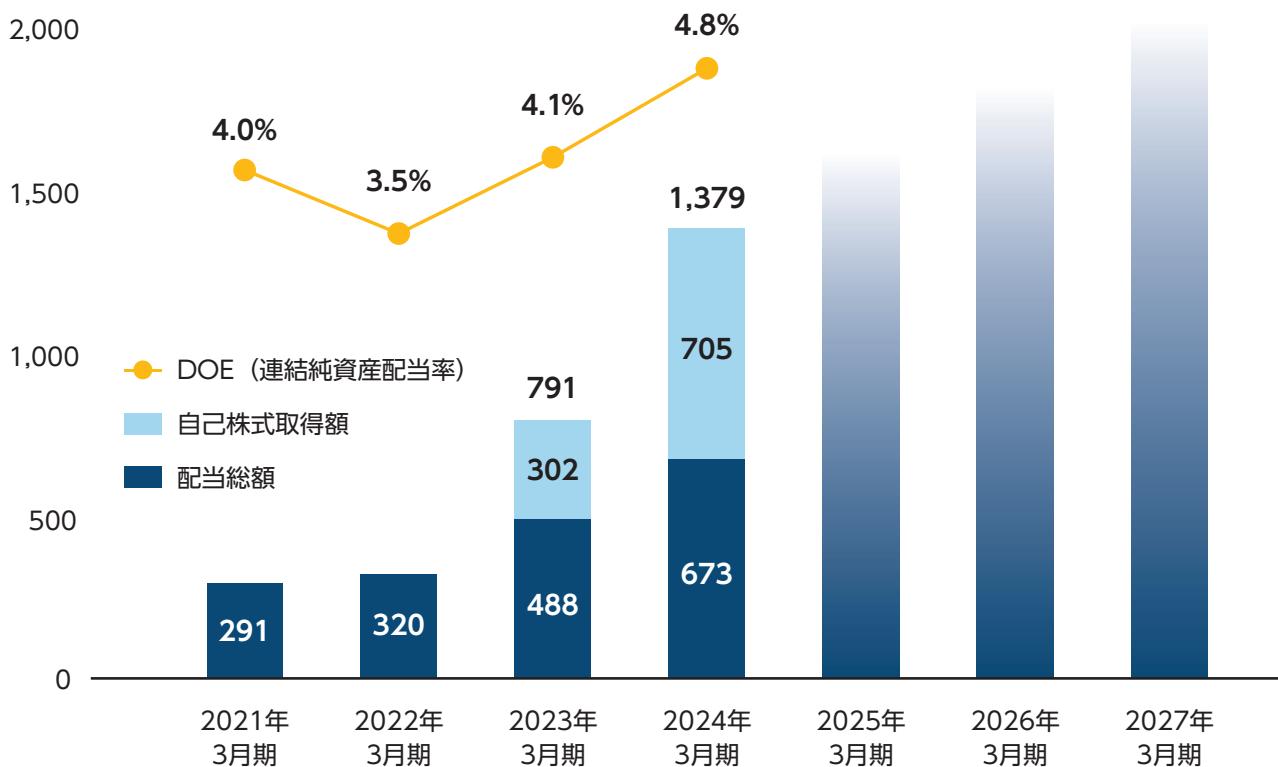
株主還元

還元方針

連結純資産配当率(DOE)4%を目安に安定的な配当実施 機動的な自社株買いの実施

- 自己資本に対する投資家目線でのリターン(資本コスト)を意識
内部留保による自己資本への再投資により将来のビジネス領域の成長枠を確保しつつ、
自己資本に対する高利益率の継続を目標とする
- 還元方針を定めた2023年3月期以降の年間配当についてはDOE4%超で決定

(単位：百万円)



● サステナビリティ

PICK UP

金融リテラシー向上施策

トレイダーズグループは幅広い層への金融経済教育活動を通じて、ファイナンシャル・ウェルビーイングの実現に資するべく、金融リテラシー向上をサポートするために様々な取り組みを行っております。

2024年3月期ではトレイダーズ証券の現役為替ディーラーが都内の小学校や神戸市の市立中学校、恵比寿ガーデンプレイス主催の街のイベントに出張し、金融経済教育の一環として出張授業を開催いたしました。そのほかにも前期に引き続いて行った女性の金融リテラシー向上に向けたセミナーや、今期より新たに学生向けのジョブシャドウイングも行うなどより幅広い活動を行っております。

● 都内の小学校にて

トレイダーズ証券為替ディーラー井口が ゲストティーチャーとして授業

参加された生徒からのコメント

「少しのお金でも銀行に預け、長い目で見ればお金が少しずつ多くなっていくことを初めて知りました。また日本の金利が0%ということにおどろきました。」

「お金についてすごく興味をもったので円安と円高についても深く考えて調べようと思いました。」

先生のコメント

「普段、授業ではなかなか取り上げることがない「お金」にまつわる貴重な話を聞く機会が得られた。」



● 神戸市の市立中学校にて

金融経済教育の出張授業を行う

参加された生徒からのコメント

「世界のお金の流れを知ることは世界の政治、経済を知ることにつながることを他の人に伝えたい。」

「金利をなぜ上げ下げするのかもっと知りたい。」

「複利半端ない。」

先生のコメント

「生徒のいきいき学ぶ姿に、様々な発見を得ることができました。」

「今日の学びも卒業に向かって素敵な彩りを添えて下さった。」



● 1年をかけ全4回のプログラムを実施 女性の金融リテラシー向上に

女性の金融リテラシー向上に向け女性主体の金融コミュニティ「きんゆう女子。」と協働し1年をかけて全4回のプログラムを実施しました。ご参加されたプロジェクトメンバーの方からは、「トレーダーズ証券さんでの勉強会、女子会を開催していただけたことで、FXは怖いというイメージだけではなく、金融を学ぶきっかけとしてFXに親しめるようになりました。」というご意見を頂戴しました。



● 高校生向け金融経済教育(ジョブシャドウイング)を実施

「金融教育の推進」の一環として、高校生を対象に本社オフィスで「ジョブシャドウイング」プログラムを実施し、実際の業務の様子を側で体験、観察していただきました。

ジョブシャドウイングとは「学生が様々な企業・組織の社員に一日同行し、どのような仕事をしているかを体感すること」で、大学生や高校生に将来の働き方・生き方を考えていただく機会を提供する取り組みです。

今後も学生の職場体験などを通じ、キャリア教育や金融経済教育の取り組みを推し進めてまいります。



当社グループのサステナビリティについて
より詳細に記載しております。
ぜひご参照下さい。

<https://www.tradershd.com/sustainability/>



全国の個人投資家に向け、当社名とブランドの浸透および
認知度向上を目指しラジオNIKKEIにて「みんなのFXラジオ」
を毎週火曜日16時15分より放送中

番組 HP : <https://www.radionikkei.jp/minna/>





FXといえば、
みんなのFX
CM公開中



会社概要 (2024年6月26日現在)

会社名	トレーダーズホールディングス株式会社
英訳名	TRADERS HOLDINGS CO.,LTD.
所在地	〒150-6028 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号 恵比寿ガーデンプレイスタワー28階
設立年月日	1999年11月5日
代表者名	代表取締役会長兼社長 金丸 貴行
従業員数	連結275名 単体25名 (2024年3月31日現在)
資本金	15億64百万円
主な子会社	トレーダーズ証券株式会社 株式会社FleGrowth
会社URL	https://www.tradershd.com/

株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	42,000,000株
発行済株式の総数	29,538,647株
株主数	11,875名

役員の状況 (2024年6月26日現在)

代表取締役会長兼社長	金丸 貴行
代表取締役副社長	金丸 武嗣
常務取締役	新妻 正幸
社外取締役	市川 正史
社外取締役	川畑 大輔
取締役 常勤監査等委員	小保 真一
社外取締役 監査等委員	菅川 洋
社外取締役 監査等委員	浅枝 謙太

単元未満株式の買取り・買増しについて

【ご注意】

当社の最低売買単位 (1単元) は100株であり、単元未満株式 (1~99株) については、証券市場で売買をすることはできません。

単元未満株式をご所有の株主様は、当社に対し、市場価格で、

- ・単元未満株式をご売却 (買取制度) または
- ・単元未満株式につき、単元 (100株) にするために必要な株数を当社からご購入 (買増制度) いただくことが可能です。

【買取制度】

(例) 65株をご所有の株主様の場合

→当社が、65株を市場価格で買い取らせていただきます。

【買増制度】

(例) 65株をご所有の株主様の場合

→35株 (ご所有の65株を100株にするために必要な株式) を、当社から市場価格でご購入いただけます。

【本件のお問い合わせ先】

〈証券会社に口座をお持ちの株主様〉

株主様の口座のある証券会社

〈特別口座に口座をお持ちの株主様〉

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

0120-232-711 (東京)

0120-094-777 (大阪)

お取引のある証券会社等へ支払う手数料については、別途証券会社等にご確認ください。

特別口座に記録されている単元未満株式につき買取・買増請求をされる場合は、手数料は無料となります。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

